

町政座談会開く

川辺町青年団

六月二十三日午後七時から、中央公民館で、青年団主催の「町政を語る座談会」を開きました。座談会には、田原町長、佐伯教育委員、栗山区長、松井教育長、金沢社会教育主事、肥田婦人会長が出席し、青年団からは篠田團長ほか二十九名が参加して終始熱心に討議され活発な意見が述べられました。

町長 名古屋を中心とした中部経済圏の発展が定まるとは進んで、川辺町の発展が考えられる。現在までは地方町村単独で行なわれた行政は、今後隣接町村と協調することによって発展があり得る。今後の川辺町発展の方向は、国道四十一号線、バス高嶺線の複線、電化、土地整理、道路改良、住宅政策の推進等によって。

赤坂 現在川辺町には町外の労働者多数があるが、今後川辺町への工場誘致は考えられているか。

町長 工場の立地条件、誘致する工場の選別が問題である。案内工業として下請できるような工場を、今後誘致したいが美濃加茂市の例もあるが経営不振にならないよう慎重に検討していきたい。

赤坂 工場を誘致する場合、現在全国的問題になっている公害の心配はないか。

町長 公害については充分調査して町民に迷惑はからぬよう配慮する。

篠田 飛騨木曾川国定公園に位置する町として、観光開発はどうか。

町長 町としてもきれいな観光地として施設を充実し積極的に観光開発に取り組んでゆきたい。

さいわい七月一日より国鉄、濃飛バス等とタイアップして、川辺から白川町までの飛水峽めぐりが具体化し、プランもできたので、七宗川、白川町ともにゴスター・チランなどを全国主要地へ配付し

しても町民から激励があった。このように一般町民の間にも、青年団に対する理解、時間的励行に対する観念が強まってきたので、今後青年団としても一層努力してゆきたい。

教育長 国旗掲揚の励行を青年団より一般に働きかけPRしてほしい。

篠田 この問題については先日川辺支部で座談会を開いたとき要望され努力している。

横田 青年団の活動が一段と向上した現在、資金面でその活動が制約されているような現状である。町長にお願いしたい。

町長 小学校の新築で町財政も苦しく本年度は困難であるが今後期待にそなうよう検討していきたい。

山田 体育関係とくに郡体に対する熱意が足りないように思う。社会教育主事、青年大会、郡体大会とも町の体育館から補助金を交付する計画である。

山田 グランドの整備の計画はないか。

横田 町民の体育向上からいって当然グラウンドを設置したいが、何分にも多額な資金を要するの

町長 町では具体的な計画はないが今後検討したい。またこういつた研修会の場合できる限り援助して若い活動家を養成したい。

篠田 婦人会の方々は盆おどりその他今後とも何分の協力をお願いしたい。

横田 町の発展をみると、婦人層、青年層の活動が向上してきたがこれだけ活動が向上してきている現状を町報などによってもPRしてほしい。

町長 町報は今後でき得るかき毎月発行していきたいので、記事を役場へ連絡してほしい。

町長 発展は約束されるので、今後ますます自愛自励して努力してもらいたい。また婦人会も全面的に協力してほしい。

司会 本日は多忙のところ町長さんをはじめ皆さんご出席いただきましてありがとうございます。これをもちって閉会いたします。

明るい町をきずこう

出席者

田原義典(町長)、佐伯勝重(教育委員)、栗山泰彦(区長)、松井孝(教育主事)、肥田元(婦人会長)、赤坂祐次(水野昭、白村智津子)、横田俊光(坪内寛司)

赤坂(教育委員)、古川(青年団)、篠田(青年団)、白村和子(加藤和英、若井増子、小沢康弘、奥村文子、高井裕吉、山田まさ子、佐伯和明、清水忠信、加藤水義、山田広和、長谷川光)

町には町外の労働者多数があるが、今後川辺町への工場誘致は考えられているか。

町長 工場の立地条件、誘致する工場の選別が問題である。案内工業として下請できるような工場を、今後誘致したいが美濃加茂市の例もあるが経営不振にならないよう慎重に検討していきたい。

赤坂 工場を誘致する場合、現在全国的問題になっている公害の心配はないか。

町長 公害については充分調査して町民に迷惑はからぬよう配慮する。

篠田 飛騨木曾川国定公園に位置する町として、観光開発はどうか。

町長 町としてもきれいな観光地として施設を充実し積極的に観光開発に取り組んでゆきたい。

さいわい七月一日より国鉄、濃飛バス等とタイアップして、川辺から白川町までの飛水峽めぐりが具体化し、プランもできたので、七宗川、白川町ともにゴスター・チランなどを全国主要地へ配付し

町長 町民の健康増進のために是非力を注いでゆきたい。

古川 体育の振興について

町長 町民の健康増進のために是非力を注いでゆきたい。

山田 現在青年団には多くの図書があるが利用状況が悪いので、公民館の会議室、応接室を図書室に改造していただきたい。

教育長 公民館の利用のうえから改造は困難であるが、読書室として利用することは差支えないので利用してほしい。

長谷川 各支部に青年の集会所を作る考えはないか、また区の集



名簿と選挙権

選挙の権利は、選挙人名簿に登録されてはじめて具体的に行使することができる。このように重要な選挙人名簿は、従来は一回選挙管理委員会が調査のうえ調査した基本選挙人名簿と、選挙のつど選挙人の申出によって調整した補充選挙人名簿の二本立になっていた。

この調整方法は、最近における人口の異動や社会生活の複雑化により選挙人の実態は把握が困難になって、登録簿や二重登録などの欠かを生じてきた。そこでこのような問題を解決するため公職選挙法が改正になって「永久選挙人名簿」の制度が採用され一月の総選挙から用いられています。永久選挙人名簿はいつたん登録されると

死亡、転出などの異動がない限り永久に据え置かれます。この名簿の登録は、三月と九月の二回選挙人の申出にもとづいて行なわれます。現在は昭和四十二年三月一日で満二十歳に達した人と昭和四十二年十一月一日迄に川辺町に転入した人が三月三十日に追加登録になっています。

したがって、八月二十七日に行なわれる町議会議員選挙には、この三月二日以後に満二十歳になった人(昭和四十二年三月二日以後に生れた人)、昨年十一月二日以後に川辺町に転入した人は、まだ名簿に登録されていないので投票することができません。

町議選のしおり

不在者投票

投票日に、次に掲げる理由によって、どうしても投票所に行きたくないと認められる人のために、不在者投票の制度があります。

不在者投票は、選挙期日の告示された日(八月二十日)から投票日の前日(八月二十六日)まで(毎日午前八時三十分から午後五時)の間に行なうことができます。

① 投票当日に選挙人名簿に登録されている市町村(川辺町)の区域外で、職務や従事中のある者(たとえば商品仕入、出張旅行、研究調査、鉄道乗務のような場合)

② やむをえない用務または事務の子ども会活動を行なっている子ども会(熱心に討議する子ども会)が行なわれ

昭和四十一年九月に、仲よし会から子ども会への改編が行なわれて以来、鹿塩子ども会は育成会長である区長ほか地域住民の強力なバックアップによって、指導委員の横田好郎氏、安田敏之氏、加藤孝義氏、横田きみあきさんたちの指導のもとに町内でもっともモデル的と言われる

雷とテレビ

雷が鳴り始めると、テレビのアンテナに落ちるのはいかにも心配です。しかし、実際にはアンテナに雷の落ちた例は意外に少ないのです。一般には周囲に高い樹木や建物などがある場合、アンテナに雷の落ちる心配はほとんどありません。しかし、ふだん雷害の被害が多く、また周囲に高いものがないので、アンテナだけがは高く突き出ているような場合、やはり雷の対策を考えておいた方が安心です。

一、アンテナの支柱(金属部分)をアースする。この場合、アース

八月の園芸メモ

※花の種まきと手い

十二月末から正月にかけて楽しむパンジー、キョウロウ、ストックなどは涼しい所にまくとよい。花壇のまるづくり、懸崖づくり用の小菊は、しんつきをしまりよく、枝をふやすようにしよう。

ダリヤの切りもとし、シャクヤクやポタンの株分なども、下旬から来月にかけてやるとよい。ポタンは、シャクヤクを木下にしてつぎまもでもよい。曇りがひどいので、敷きわらをしたり、秋植球根の、取つきも今月の仕事である。

※果樹の芽つき、その他

モモやスモモの芽つきが、今月の仕事になります。室外つぎ木もやってみると、よい結果が楽しめます。おっくうがらずに手がけてみるのがよいでしょう。

近く台風の対策も、準備しておかなければなりません。ブドウや梨の棚の補強とか、その外の果樹の誘引をしかりとして、万全の手段をつくっておきましょう。これは庭木についてもいえること、ちょっとした不注意から大きな被害を受けることがあります。

困難であるが今後検討していきたい。

横田 今年度県では青年の活動家の養成、施設の建設に力を注いでいるが町では具体的な考えはないか。

町長 町では具体的な計画はないが今後検討したい。またこういつた研修会の場合できる限り援助して若い活動家を養成したい。

篠田 婦人会の方々は盆おどりその他今後とも何分の協力をお願いしたい。

横田 町の発展をみると、婦人層、青年層の活動が向上してきたがこれだけ活動が向上してきている現状を町報などによってもPRしてほしい。

町長 町報は今後でき得るかき毎月発行していきたいので、記事を役場へ連絡してほしい。

町長 発展は約束されるので、今後ますます自愛自励して努力してもらいたい。また婦人会も全面的に協力してほしい。

司会 本日は多忙のところ町長さんをはじめ皆さんご出席いただきましてありがとうございます。これをもちって閉会いたします。

夏休みのプランきまる

鹿塩子ども会

七月三十日午後一時から鹿塩公民館で、鹿塩子ども会の合同予定行事が行なわれ、昭和四十一年九月に、仲よし会から子ども会への改編が行なわれて以来、鹿塩子ども会は育成会長である区長ほか地域住民の強力なバックアップによって、指導委員の横田好郎氏、安田敏之氏、加藤孝義氏、横田きみあきさんたちの指導のもとに町内でもっともモデル的と言われる

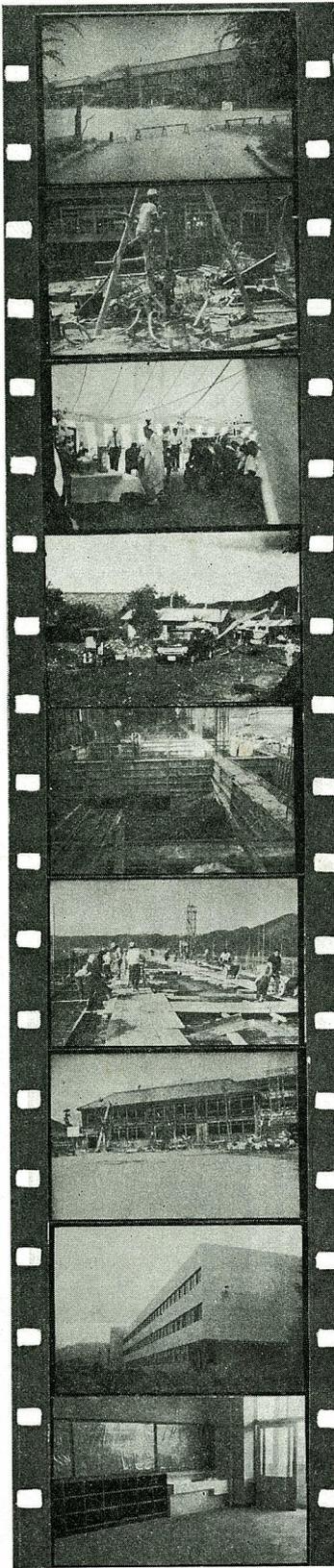


雷とテレビ

雷が鳴り始めると、テレビのアンテナに落ちるのはいかにも心配です。しかし、実際にはアンテナに雷の落ちた例は意外に少ないのです。一般には周囲に高い樹木や建物などがある場合、アンテナに雷の落ちる心配はほとんどありません。しかし、ふだん雷害の被害が多く、また周囲に高いものがないので、アンテナだけがは高く突き出ているような場合、やはり雷の対策を考えておいた方が安心です。

一、アンテナの支柱(金属部分)をアースする。この場合、アース

建築アルバム



ありし日の旧校舎全景

いよいよボーリング始まる

地鎮祭厳かに行なわれ

床堀りはじまる

基礎コンクリート打込完了

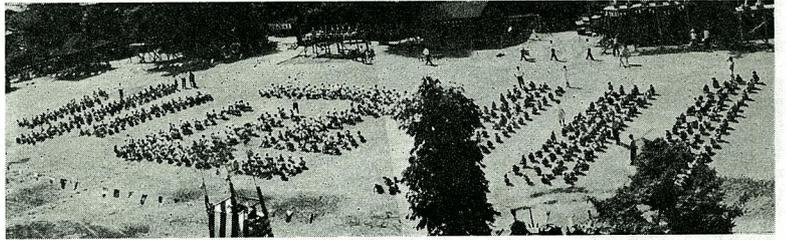
コンクリート打込みたけなわ 二階部分

旧校舎のとりこわし始まる

新校舎中央より西側始

各教室とも内装終わり一部授業はじまる

写真は児童全員の「川辺小」の人文文字右と、町内をパレードする鼓笛隊(下)



ふるこのマーチも高らかに

鼓笛隊町内をパレード

7月24日午前9時、小学児童729人が「川辺小」の人文文字を校庭に描いて待っているところへ、中日新聞社機「新鷹」が祝賀飛行におとずれました。手を振って歓迎する児童、町民の上空を低空で何回も旋回し、与良社長の田原町長あてのメッセージを投下しました。翼をふって「新鷹」が去ったあと、5、6年生の鼓笛隊が町内をパレードして祝賀式典に花を添えました。



今年の七月旧校舎と新校舎は、パトナッチをしたので、設備が整ってこの新しい校舎は七百二十九名の生徒を全員育てる事になったのです。

明治四十二年に創立されたこの学校も年が增すにつれておとろえついにこわすことになった。そして川辺のどまん中であんな顔でいんと立っ鉄筋コンクリート三階建の校舎が生まれた。

新校舎へはいつて
六年 水野純明



この校舎を初めて見た時はいかにも近代建築らしいと思った。新校舎へ始めてはいるといつていよいよけんめい勉強したり、働いたりして、この小学校がすばらしい学校になるように努力したいと思う。

基礎工事が始まって以来みんなが指折り教えてまっていた日です。工事申だつたころのあのうさぎの音がまだ耳に残っています。ほんとうにやかましかった。他の所に作ればよいのに何度も思いました。そして、今年の五月から新校舎にはいれることになりました。待ちどぼうしたつた大変な期間、引越し作業が何度かあつた。引越したのになんか作業するなんてそんなやんやんごまんで話してあげました。でもやっぱりうれしくてみんなの顔もニコニコしてました。特別教室もふえてりつぱな校舎ができていきます。特別教室の設備、各教室についての水道、大きな窓など近代的な感じでした。でも旧校舎より教室の面積がせまいので始めはききくつな感じがして、

わたしたちは新校舎最初の卒業生です。校舎にまけない人になろう。わたしたちはこんな新しい校舎にいられてたいへんうれいの子供たちがはいり卒業しつぱなびとびを送りだすだろう。このりつぱな校舎の最初の卒業生になるわたしたちは後輩たちのよい手本にならなければいけないと思います。

新校舎へはいつてもう一つ感じることがある。それは、給食用のエレベーターである。今は使えないが給食室が校舎のうらにできると思えるそうだ。二階へ重い食器をかかえていったいせんの苦労もうそのよう。昨年、一昨年のおもいさんやおねえさんたちは、新校舎を目前にして卒業していったが、ぼくらは、幸福である。だから、皆さんのぶんもあわせて、いっしょうけんめい勉強したり、働いたりして、この小学校がすばらしい学校になるように努力したいと思う。

新校舎中央より西側始まる

各教室とも内装終わり一部授業はじまる

全部できあがるのがとても長く感じられて何だかおちつきませんでした。そして七月、全クラスが引越してやつと校舎らしくなりました。でも完成するにはまだまだです。二十四日には落成式が行なわれることになり鼓笛の練習が始まりました。みんなはあせを流していっしょうけんめい練習しました。

そしていよいよ落成式になりました。全校生徒の人文文字、新聞社からのメッセージ、五、六年の鼓笛行進、もちろんげんげいの行進、われ県知事さんをはじめ多量の方々のお祝ひを受けてほんとううれしかったです。

わたしたちは新校舎最初の卒業生です。校舎にまけない人になろう。わたしたちはこんな新しい校舎にいられてたいへんうれいの子供たちがはいり卒業しつぱなびとびを送りだすだろう。このりつぱな校舎の最初の卒業生になるわたしたちは後輩たちのよい手本にならなければいけないと思います。

新校舎へはいつてもう一つ感じることがある。それは、給食用のエレベーターである。今は使えないが給食室が校舎のうらにできると思えるそうだ。二階へ重い食器をかかえていったいせんの苦労もうそのよう。昨年、一昨年のおもいさんやおねえさんたちは、新校舎を目前にして卒業していったが、ぼくらは、幸福である。だから、皆さんのぶんもあわせて、いっしょうけんめい勉強したり、働いたりして、この小学校がすばらしい学校になるように努力したいと思う。

老人クラブ総会ひらく

7月28日川辺小学校で



(写真は老人クラブ総会)

加茂郡老人クラブ連合会は、七月二十五日、山本副知事、長谷川県議議員をはじめ来賓多数を招いて、昭和四十二年度の総会を、川辺小学校講堂で開きました。

午前九時三十分、有賀会長の開会あいさつ、地元田原町長の歓迎のあいさつ、このあと議事にはいり、昭和四十一年度決算、昭和四十二年度予算など四件を審議、いずれも原案通り決定して午前十一時三十分閉会しました。

午後には懇談会のと、山本副知事、浦美濃加茂教育事務所長の講演会が行なわれました。

受験をひかえたことの中にも夏休みを十分楽しむ余裕もなく、かえって「受験ノイローゼ」にかかっているような場合もありました。そんなときには、むしろ、ゆつくり、残り少なくなった休みののびのびと遊ばせてあげてください。そして涼しくなる秋にそなえて体力の回復をはかることがたいせつです。

一方、長い休みで、なにか悪いことがつかないかと、親は十分くどもを観察してやりましよう。万一そんな芽がはえ出したら先生などとも連絡をとって早くかりとてやることです。

家庭

夏休みのしめくり

長い夏休みはしめくりがたいせつです。はじめのうちはきんちと計画どおり夏休みのたのしみでいたかたもたのしみで下旬になると、とかくだれてしまつて、宿題も中途半端、お手伝いもなかなか約束どおりかないものです。

夏休みのしめくりは、なにか悪いことがつかないかと、親は十分くどもを観察してやりましよう。万一そんな芽がはえ出したら先生などとも連絡をとって早くかりとてやることです。

夏は暑いときはぬかみその味が変りやすいです。きゅうり、なすなどは水分が多くて床がゆるみ、すっぱくなります。そんなとき、細長いぎるにぬかみそを入れて、余分の水分をとり、ぬかを補って、手まめに手入れをくりかえしましよう。

